

## トップの知恵袋



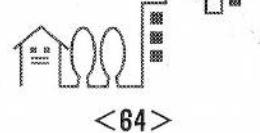
「まいどおおきに食堂」438店を始め、「串家物語」「かつぼうしき」など24業態688店を展開する。藤尾社長が一代で築いた。

「地域の食材を使って、地域の人たちに働いてもらい、地域の人たちに来てもらって食べてもらう。この地産地消」がわが社の社会貢献」と藤尾社長。「まいどおおきに食堂」に、「堺筋食堂」「森町食堂」などと地域名を付けるのはこうした考え方からだ。従業員は、「パートナー」と呼ぶアルバイトを含め約1万4千人。うち、地元の主婦ら40

「まいどおおきに食堂」438店を始め、「串家物語」「かつぼうしき」など24業態688店を展開する。藤尾社長が一代で築いた。

「まいどおおきに食堂」438店を始め、「串家物語」「かつぼうしき」など24業態688店を展開する。藤尾社長が一代で築いた。

**広がる  
CSR**



## 赤星憲広氏の福祉活動を支援

### フジオフードシステム

赤星氏と藤尾社長との交流は深まり、12年から始まった赤星氏、大阪府交野市など主催の「リングオブレッド交野市チャリティマラソン」を特別協賛企業として支援に乗り出した。第2回大会は去年4月7日、10キロ、3キロ、車いすコースなど合わせて6100人余りが参加、交野市域を駆けた。集まった基金は車いすの寄贈などに充てられた。今年は4月20日の予定で、すでに参加者の募集は終えている。

さらに、今年12月には、小野マラソン（兵庫県小野市）も開く計画で、交野マラソンと同様の支援を予定している。

(真人)

赤星氏は現役時代の03年から、年間の盗墨数分の車いすを全国の施設に贈り続けてきた。09年まで7年間に寄贈した車いすは301台。引退後も活動を続けるため、基金を設立した。

元阪神タイガース選手の赤星憲広氏が取り組んでいる社会福祉活動「Ring of Red」赤星憲広の輪を広げる基金の支援も続けている。関西一円の同社食堂約300店舗に、赤い募金箱を設置して寄付を募り、同基金に渡している。集まるお金は年間約200万円。

歳以上が約40%を占める。バイトの定年は65歳を基本にしているが、希望があれば更新している。最高齢者は、甲府下石田食堂（山梨県甲府市）で働く女性、87歳。高齢者雇用は今後も促進したいと。いう。